

平成19年6月14日

平田ロータリークラブ 週報

No.1614

発行日 毎週木曜日

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮 彦助

（事務局）

島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
IP 050-5204-5816
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@hit-5.net

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例会	卓話者	演題
第1614回	会員 西谷義興	地球の歴史について
第1615回	会長 加藤喜久 19:00~	一年をふり返って
第1616回	次年度会長 田中久雄 18:30~	新年度会長方針

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正率
47	35	12 (3)	78.05	100

欠席者 荒木・大谷・黒田・加藤昇・大島治・名原・園山・三代・持田 (杉原・石原恵・石倉)
来訪者 常松 (出雲南)

幹事報告

1. ガバナー月信、ロータリーの友誌、インターシティーミーティング (I.M) レポートの配布

スマイル

常松 (出雲南) 久しぶりにお邪魔します。よろしくお願ひ致します。

加藤喜 出雲南R.Cの常松様、ようこそいらっしゃいました。西谷会員のスピーチを楽しみにしています。前々回の例会の補正出席率100%達成を喜んで。

高砂 本日、本年度2回目の補正出席率100%達成出来ました。ありがとうございます。

横野 出雲南R.C常松栄様のご来駕を喜んで。

飯塚大 出雲南R.C常松様、ようこそいらっしゃいました。

木佐 今年度最後の100万ドルの食事です。

7月5日例会受付当番

三代 晴美・大谷

孝・佐藤 初

★松江南クラブ (月) 6/25 ★出雲クラブ (火) 6/19・6/26(休) ★平田RAC (第1・3水)
★出雲中央クラブ (月) 6/18・6/25 ★松江クラブ (水) 6/27 ★松江東クラブ (木) 6/28
★松江しんじ湖 (火) 6/19・6/26 ★大社クラブ (水) 6/27 ★出雲南クラブ (金) 6/22・6/29(休)

会長挨拶

最近毎日のようにテレビ、新聞に大きく取り上げられている問題があります。国民年金などの社会保険料が約5000万件に及ぶ記録の紛失問題です。あきれて開いた口がふさがりません。全国の臨時相談窓口には、「自分の記録は大丈夫か」との問い合わせが殺到、大変な問題となっています。いったいなぜこんなことになってしまったのか、誰がどう責任を取るのか……。参院選も近づき政局にも大きな影響を及ぼしかねない事態は深刻です。

今から10年以上前だったと記憶していますが、ある市民から行政相談がありました。その方は昼休みを利用して出雲にあります社会保険事務所に用事のため出向きましたが、昼休みの時間はクローズされていて長時間待たされ、納得がいかないという苦情相談でした。以前の役所はどこでもそうでしたが、竹下さんが総理のとき行政サービスの徹底を強く叫ばれ、それ以来国はもとより県、市町村どこもが改善されて、昼休みの時も窓口は開くようになりました。私はすぐに行政監察事務所（現行政評価事務所）に連絡し改善するように依頼をしましたが後日、事務所からの返答は、社会保険事務所は労働組合が強くて全国どこの事務所も今のところ改善は難しいとの事でした。組合に振り回されて電算化、合理化が大きく取り残されていた社会保険庁のそのツケが今回ってきたように思えてなりません。

スピーチ

地球の歴史について

会員 西谷 義興

地球が誕生したのは約46億年前といわれています。そしてその歴史の中の大部分で地球はどのようなものであったかは今日でもまだ充分解明されていません。この中で約5億7千万年前位に地球上に生物が発生し、歴史が編まれております。

しかし地球の誕生から今日までを1年という物差しで当てて見るならば11月15日以後の事になります。このように生物の歴史は地球史に比べれば大変新しいと言う事ができます。

現在の人類の歴史はこの物差しで見れば約12月31日夜11時48分29秒以後という事になります。大変新しい、歴史の浅い生物という事ができます。

私達が地質編年といっているのは生物（化石）編年であり、これは背後にある環境変化をも示唆しています。歴史の中で幾多の代表的生物が発生し、繁栄し、滅亡していきました。必ずしも大きく力強いものが生きのびた訳ではありません。この様に地球上には想像を絶する大きな環境変化が存在した事を示しており、人類滅亡すらも単なる地球環境変化の一環にすぎないようにも思われます。

しかし、この様な環境変化の中にも原型を余り変えないで生きのびた生物（例えばゴキブリ、トンボ、カマキリ、トカゲ等）もおります。

これらは体形を非常に小さくして環境変化を耐え抜いた者達です。

私達は大きい事、強い事は良い事と考えますが、一考を要するのではないかと思います。

歴史は切り口、糸口の取り方によって色々異なって見えると思います。

